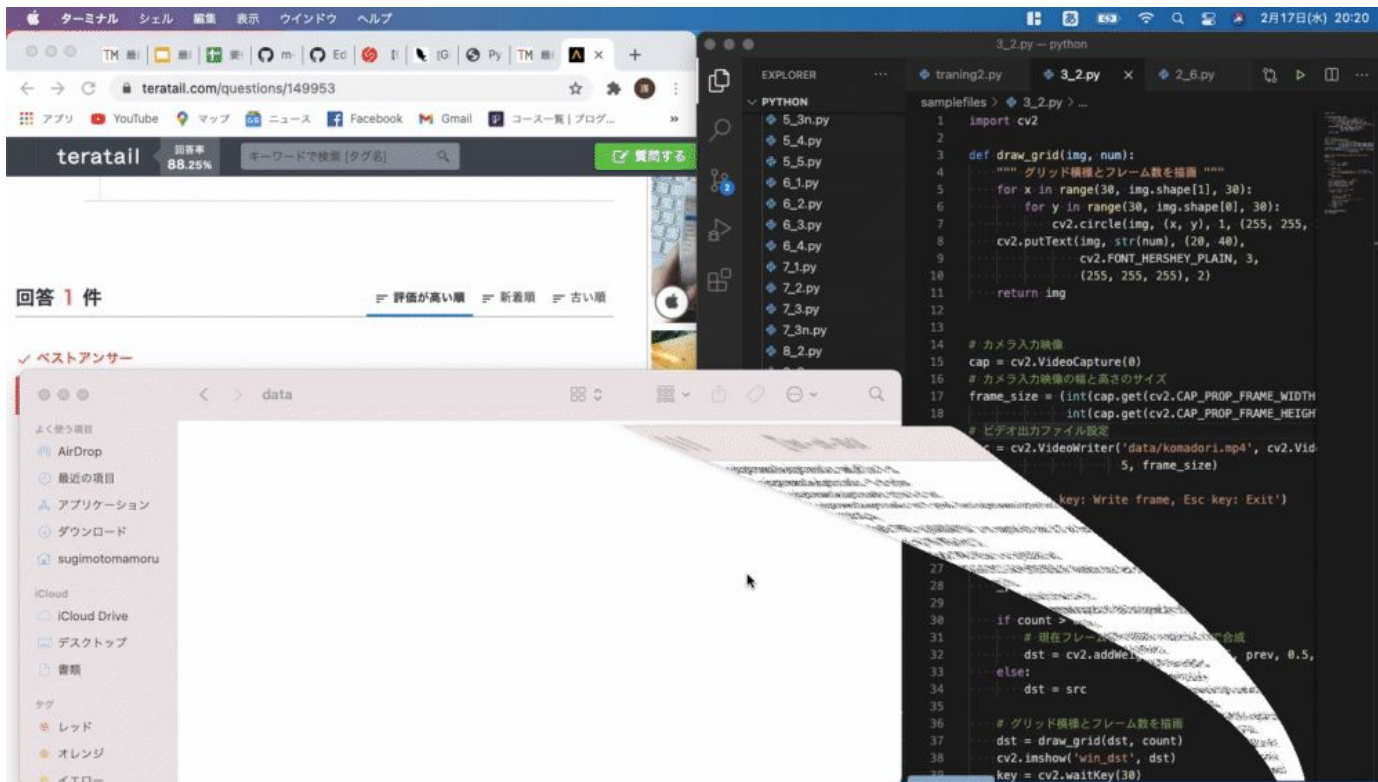


最終課題発表

短期(夜間)84期__名前 杉本 護

アプリケーションの概要について

メガネの試着アプリの作成。
度付きにした場合に目元にどのような影響が出るかを可視化するアプリを作る予定。
挙動画像はメガネを試着させる元の写真を撮り保存するまでの挙動です。



最終課題を通じて得られた学び

最終課題を通じてまずはアプリなどの作成の大変さを知りました。

フリマアプリを作るのに1ヶ月以上を使い、また安全性の配慮や利用者の使い勝手など気を配る点が多く感じました。

単純に動けば良いと言うだけでなく、安全面の配慮は必要だと言う点はユーザーの時から理解していましたが、その重要性は作成してより痛感しました。

開発で苦労した点・頑張った点

・苦労した点

新しい言語の習得や自分の作成したいアプリはどの言語が適しているかを探ることが苦労しました。

画像合成をするためpythonのopencvを使いましたが現在もこれが正しいのかわからずにいます。作成しながらこの言語が自分の作成したいものにあっているかどうか引き続きオリジナルアプリを作成しながら考えていきたいと思っています。

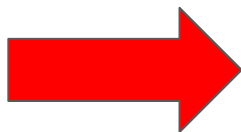
・頑張った点

最終課題終了後、本を買って1から新しい言語の習得にトライし、作成に望んでいるため新しい言語の習得は今も現在努力しています。

各機能の実装目的

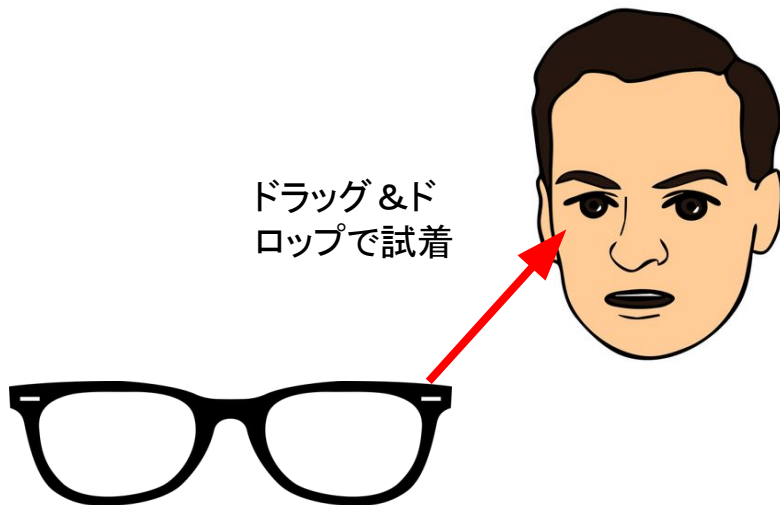
・メガネ試着アプリ

- 1、写真を撮って試着をする元の顔の撮影（現在はこの段階まで作成済み）
- 2、度付きにするため度数等の必要なものを入力しそのデータをメガネの枠内に反映させる。
- 3、メガネ画像を用意し試着させる。



度数などの必要なデータを入力
ex) R s-1.00 c-0.50 ax180 PD32
L s-1.50 PD32

ドラッグ & ドロップで試着



まとめ

半年間とても勉強になりました。関わった皆さんありがとうございました。

初めてのことが多く、また社会人になってからここまでしっかりと勉強に時間を費やしたことがなかったため、有効的な時間使い方も一緒に学べたと思います。

時間の使い方に関してはプログラミングの学習以外にも活用できることなので今後、仕事しながら学習するという生活スタイルができたことは何よりの成果だと思います。

ここで学んだことを生かし今作成しているオリジナルアプリを完成させ、転職や副業など私の強みとなるように学習を続けていきます。